

「現代国際巨匠絵画展」

一流作家らの名画120点集う 12、14日 吾妻ふるさと会館

世界の一流作家の名画が揃う「現代国際巨匠絵画展」写真展が12、14日、雲仙市吾妻町ふるさと会館で開催される。午前10時～午後6時。入場無料。国見町の社会福祉法人野の花の20周年を記念するチャリティー企画で、実行委員会(野島研二実行委員長)が主催し、島原新聞社などが後援。国内外の画家らの作品を地域住民に見てもらい、法人活動への理解を深めてもらう。収益の一部は熊本地震被災地の義援金に充てる。同人人は「福祉は文化」、

社会福祉法人野の花20周年記念 チャリティー企画
世界の一流作家たちの力作120点を一堂に展示

現代国際巨匠絵画展

12月12日(土)～14日(月)
AM10:00～PM6:00 展示作品は予約を承ります

特別企画 山本宗平 画伯 サイン会開催 会期中、毎日3回(AM11:00 PM2:00 PM4:00)

吾妻町ふるさと会館 多目的ホール 入場無料

野の花チャリティー絵画展実行委員会
長崎県雲仙市吾妻町牛口名537番地1
TEL 0957-78-3866 FAX 0957-73-9915

協賛: 雲仙市/島原市/南島原市/雲仙市教育委員会/島原市教育委員会/南島原市教育委員会/雲仙市社会福祉協議会/島原市社会福祉協議会/南島原市社会福祉協議会/南島原市商工会/有明町商工会/長崎県精神障がい者福祉協会/長崎県精神障がい者福祉協会/長崎県精神障がい者福祉協会/九州労働者福祉協会/長崎県民会館/長崎新聞社/島原新聞社/西日本新聞社/朝日新聞/読売新聞/西日本新聞社/毎日新聞社/NBC長崎放送/NCC長崎文化放送/KTNテレビ長崎/NIB長崎国際テレビ/ケーブルテレビジョン島原/ひまわりテレビ/エフエム長崎/FMひまわり ほか

2019年10月12日(土)～14日(月)
AM10:00～PM6:00 展示作品は予約を承ります

特別企画 山本宗平 画伯 サイン会開催 会期中、毎日3回(AM11:00 PM2:00 PM4:00)

吾妻町ふるさと会館 多目的ホール 入場無料

野の花チャリティー絵画展実行委員会
長崎県雲仙市吾妻町牛口名537番地1
TEL 0957-78-3866 FAX 0957-73-9915

協賛: 雲仙市/島原市/南島原市/雲仙市教育委員会/島原市教育委員会/南島原市教育委員会/雲仙市社会福祉協議会/島原市社会福祉協議会/南島原市社会福祉協議会/南島原市商工会/有明町商工会/長崎県精神障がい者福祉協会/長崎県精神障がい者福祉協会/長崎県精神障がい者福祉協会/九州労働者福祉協会/長崎県民会館/長崎新聞社/島原新聞社/西日本新聞社/朝日新聞/読売新聞/西日本新聞社/毎日新聞社/NBC長崎放送/NCC長崎文化放送/KTNテレビ長崎/NIB長崎国際テレビ/ケーブルテレビジョン島原/ひまわりテレビ/エフエム長崎/FMひまわり ほか

とともに歩き続けてきた。現在、就労継続支援B型事業所「野の花風館」、グループホーム「希望」、相談事業所「空(クウ)」の事業を展開。ことし4月には「希望」系列の「そよ風ホーム」を新築し、運営を始めた。

「いっしょに生きていきましよう」という思いを胸に、雲仙・普賢岳のすそ野で無認可の作業所として産声をあげ、その後法人化してからも心の置きどころを変え、雲仙・島原の奥深い郷土文化に包まれて20年。支援者や利用者

山本さんは2006年にアカデミー・オブ・アート大学(AAU)アメリカ・カリフォルニアを卒業し、国内外で個展を開くなど活躍しており、今展覧会では原画約35点を並べる。会期中は毎日3回(午前11時、午後2時、4時)、山本画伯のサイン会が開かれ、来場者にはポストカードをプレゼント。問い合わせ先は同実行委(TEL0957・78・3866)。

福祉支援の絵画展

60人の120点を展示・販売

国内外の作家の油彩画や版画作品など約120点を展示・販売する現代国際巨匠絵画展が12、14日、雲仙市吾妻町のふるさと会館である。働く場所作りやレクリエーション活動を通じ、障害者の暮らしを支援する同市の社会福祉法人「野の花」が設立20周年を記念して開く。

野の花の活動を地域に広く知ってもらおうと企画。収益は活動資金や熊本地震の被災者支援に使う。趣旨に賛同した作家ら約60人が出品し、書家の金澤翔子さんの「飛翔」など絵画以外の作品も並ぶ。JR長崎駅構内を描写した風景画など31点を出品した静岡県在住の山本宗平さん(39)は、

「人の姿がとけ込んだ風景にひかれる。絵を一つの物語として受け取ってもらえれば」と話した。

絵画展は午前10時～午後6時で入場無料。会期中の午前11時、午後2時、同4時に山本さんのサイン会がある。【近藤聡司】



自作について語る山本さん(左)

2019年(令和元年)10月12日(土)

毎 日 新 聞

雲仙で「現代国際巨匠絵画展」

福祉施設開設20周年記念 きょう開幕



岡本太郎の作品(右)などが並ぶ現代国際巨匠絵画展。写真は準備中の野島研二委員長

内外の画家や書家の作品を集めた「現代国際巨匠絵画展」(西日本新聞社など)後援が12日から14日まで、雲仙市の吾妻町ふるさと会館多目的ホールで開かれ

る。入場無料。

同市国見町で心身障害者が働く場やグループホームを運営する社会福祉法人「野の花」の開設20周年を記念したチャリティー企画。ピカソ、シャガール、東山魁夷、岡本太郎らの精巧な複製画などのほか、静岡県在住の油彩画家山本宗平さん(39)の作品など約120点を展示即売する。収益は熊本地震支援などに役立てる。

絵画展実行委員会の野島研二委員長(46)は「地域文化の底上げをしたい。障害者への理解を深めることにつながってほしい」と話した。問い合わせは実行委へ。0957(78)38866。

チャリティー企画絵画展

きょうから雲仙で 巨匠らの複製画

障害者の就労施設などを運営する雲仙市国見町の社会福祉法人「野の花」のチャリティー企画「現代国際巨匠絵画展」が12、14日、同市の吾妻町ふるさと会館で開かれる。収益の一部を約120点を展示、販売す



展示品の設置を行う野島さん

る。会期中、静岡県を拠点に活動する画家山本宗平さん(39)のサイン会を各日3回予定している。

11日には会場で設営作業があり、実行委員長で同法人の野島研二さん(46)は「文化に触れるとともに、障害者への理解を深めてもらう機会にしたい」と来場を呼びかけている。

午前10時～午後6時。入場無料。問い合わせは実行委員会(0957・78・3866)へ。